



こどもたちの手でつくる『こどものまち』開催

8月9日(日)、もりんぴあこうづの2階・3階が、こどもだけの疑似社会「こどものまち」の世界に変わり、こどもたちの笑顔であふれていました。

「こどものまち」とは、こどもたちが主体となって企画・運営を行い、お店や市役所をはじめとする、まちに必要な施設や仕事、さらにはまちのルールまで自分たちで考え、仮想の社会体験を通して実社会の仕組みを学ぶイベントです。

1979年にドイツ・ミュンヘンで始まった「ミニ・ミュンヘン」が起源とされており、日本でも各地で開催されています。もりんぴあこうづで行う「成田市こどものまち」は、今回で13回目となります。今回は、44名のこどもたちが実行委員に立候補。3月から月2回のペースで集まり、さまざまなことを話し合いながら、企画や準備を進めてきました。

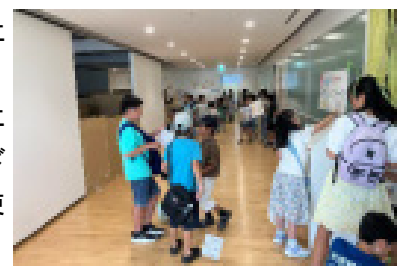
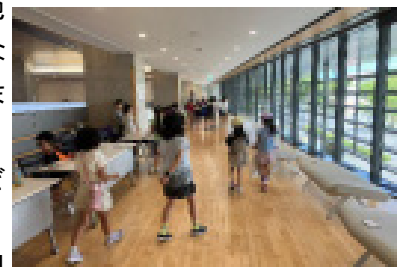
6月には、小泉市長から成田市政や「まちをつくる」ということについての講話を聞き、「こどものまち」をつくる際の参考にしました。

また、こども実行委員長を決める際には、実際の選挙さながらに投票を行いました。成田市選挙管理委員会から投票箱や投票用紙を借用し、本格的な選挙を体験。将来、投票に行く日に向けて、良い予行練習になったのではないのでしょうか。

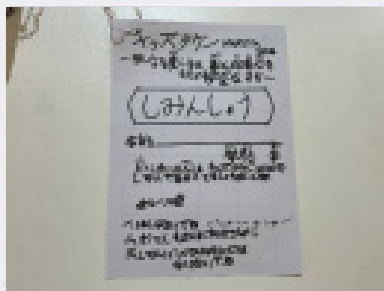
「こどものまち」では、15分働くと、こどものまち専用の仮想通貨「スター」を市民証の裏に貯めることができます。貯めた「スター」は、まちのお店での買い物や飲食、ゲームやさまざまな体験などに使うことができます。「スター」をすぐ使う子、いっぱい貯めてから使う子、使い方にも個性がでます。

こどもたちは大人の社会をよく見えています。仕事をしてお金を得て、買い物をしたり、さまざまなサービスを利用したりするだけでなく、「投資」という仕組みにも興味を持つ日が来るかもしれません。いつか「こどものまち」でも、NISAのような投資の仕組みが登場するのではないかと、想像が膨らみます。

「こどものまち」でのさまざまな体験を通して、こどもたちは楽しみながら、働くことや社会の仕組み、まちづくりについて学びました。この経験が、これからの生活や将来を考えるきっかけとなり、未来の成田を担う力につながっていくことを願っています。



こどものまちの進め方



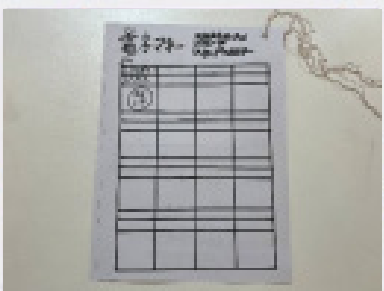
① 転入届を提出し、市民証をもらう



② ハローワークで仕事を紹介してもらう



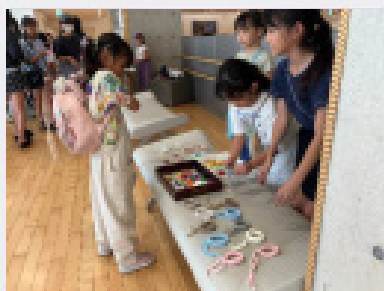
③ 仕事をする



④ 仕事をした分の給料が電子マネーにチャージされる



もっとお金をためたい人は②へ



⑤ ゲームや買い物・体験をする！

②～⑤をくりかえす

仕事・ブース紹介



市役所

参加費をもらい、市民証を渡し、市民登録を行います。ホールでのイベントやスタンプラリーを実施します。



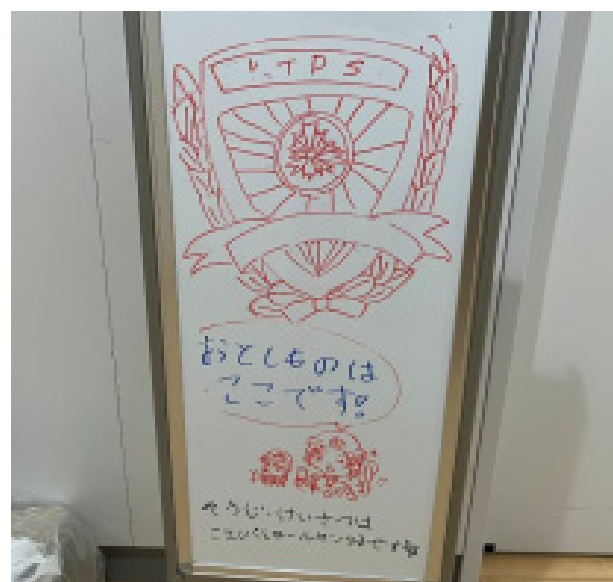
ハローワーク

仕事を見つけられるように工夫してお仕事カードを掲示して紹介します。回収ボックスに入っている札を戻します。



パトロールセンター

館内のパトロールをします。落ちていた忘れ物の管理をします。見つけた人を捜索します。そうじを行います。



仕事・ブース紹介



ゲームセンター
ボウリング

来た人に遊び方を説明します。
点数を計算し、景品をわたします。
倒れたピンをもとに戻します。



ゲームセンター
射的

来た人に遊び方を説明します。
点数を計算し、景品をわたします。
動いた的、輪ゴムをもとに戻します。



ゲームセンター
くじびき

くじを用意します。
来た人が当てた等数に応じて、景品をわたします。



フリーマーケット

不用品の販売を行います。
フリーマーケットスペースの管理を行います。



巨大迷路

来た人に遊び方を説明し、助けてほしい時に
使う SOS グッズをわたします。助けてほし
い人がいないか見守ります。



キッズタウンショップ

小物の販売を行います。

プ



体験
小麦粉スクイーズ

材料や道具を準備します。来た人に作り方を説明します。



体験
紙コップロケット

材料や道具を準備します。来た人に作り方を説明します。



フードコート

焼きそばを容器に入れます。ミニミニピザをホットプレートで焼きます。来た人に販売します。



カフェ

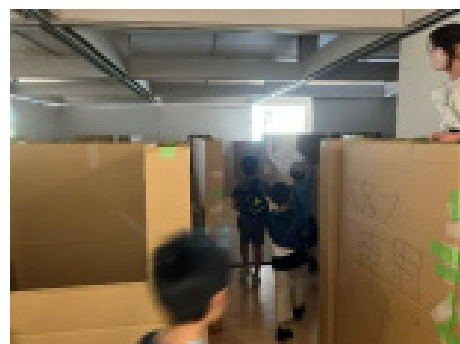
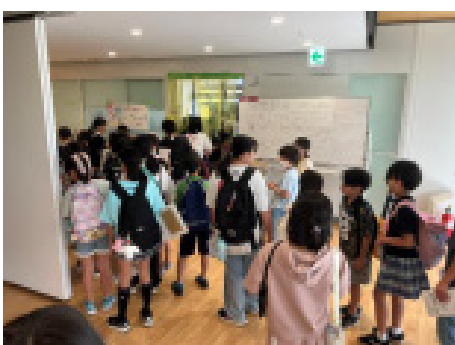
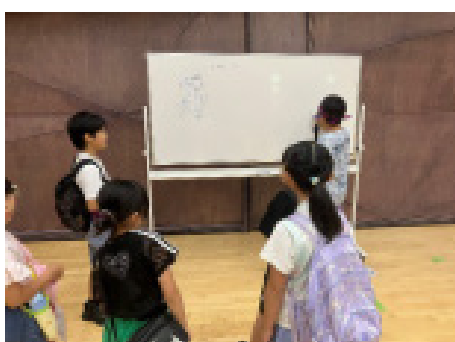
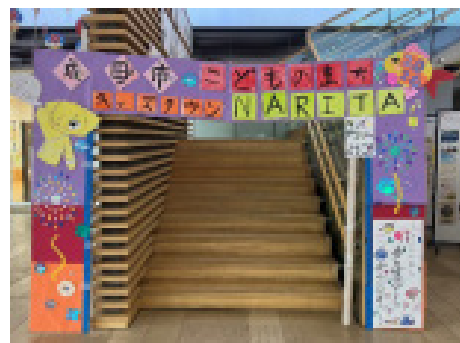
来店したお客さんから注文をとります。対象の商品を盛り、席まで運びます。お客さんが帰った席をきれいにします。

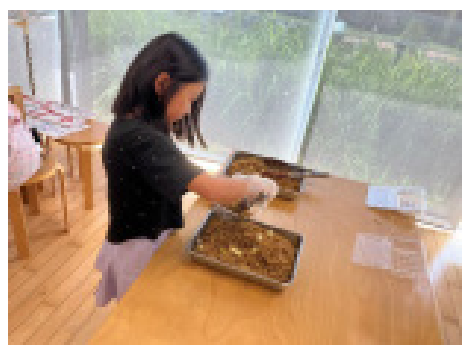
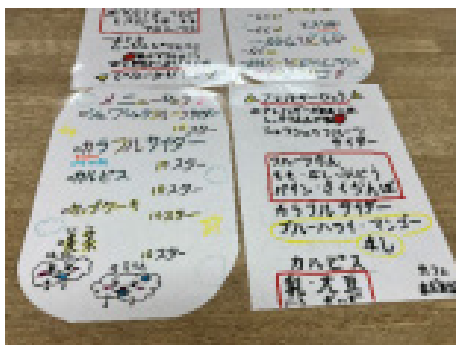
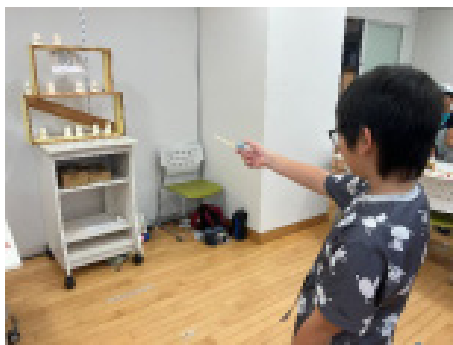
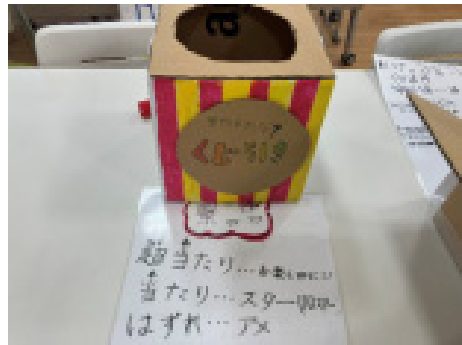
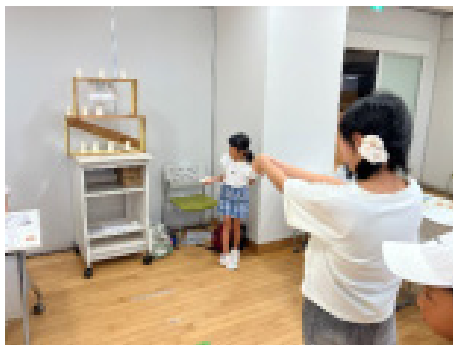


- ★大切なお仕事
- ★人を喜ばせるお仕事
- ★体験のお仕事
- ★食べ物のお仕事

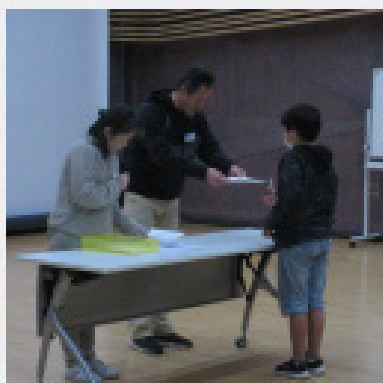


フォトギャラリー





開催されるまでの主な活動内容



3/28 第1回実行委員会

自己紹介、こどものまちについての学習、注意事項の説明後、グループワークと任命書の授与が行われた。



4/11 第2回実行委員会

レクを行い、親睦を深めたのち、まちで行いたいことを話し合うグループワークを行った。



4/25 第3回実行委員会

マインドマップの説明後、飲食のマインドマップを作成した。



5/9 第4回実行委員会

コンセプトを決定。実行委員長・副委員長を決める選挙を行った。投票箱は選挙管理委員会から本物を借用した。



5/23 第5回実行委員会

まちに必要なお店・施設を出し合い、13のお店・施設が決定した。ポスター作りについての説明を聞いた。



6/13 第6回実行委員会

メインポスターを決定。小泉市長から成田市政について、まちをつくることについて講話を聞いた。



7/11 第7回実行委員会

お店の仕事内容について話し合いを行った。



7/20 第8回実行委員会

各ブースに必要なものの確認、仕事の確認、部屋のレイアウトの確認を行った。



7/25 第9回実行委員会

それぞれの店舗・ブースにわかれて、看板や装飾などを作った。夏休みのシフトを作成した。

わたしはキッズタウン、2回目です。役目決めの時、わたしは去年と同じフードコートになろうと思いましたがなれませんでした。人数が少なそうなキッズタウンショップになろうと思いましたが、それもなれませんでした。今度は市役所になろうと思いましたが、やっと市役所になれました。初めての場所、初めての人とうまくやっていけるかととても不安でした。顔合わせの日どんな人だろうと思いました。しかし、3人とも男子だったのもっと不安になりました。最初はどうすればいいかわからず、「どう？」と聞かれた答えにしか返事ができませんでした。でも、どんだんなれていき、自分から声をかけることもできましたが、当日まで名前がよびあえませんでした。なんてよんだらいいかわからず当日までよんでいませんでした。当日、名前をやつとよべました。意外にスムーズによべるようになりました。そして当日うけつけをしたり、スタンプラリーの仕事をしたりホールイベントを行ったり、大変で、きんちょうし

たけどうまくできたと思います。自分で作ったパンフレットもうけとってもらえてよかったです！わたしは来年もキッズタウンに参加したいです。友達のいないかんきょうですが、がんばりたいです。

【小学校5年生 Sさん】



私はフードコートでやきそばとミニミニピザ売りました。たいへんだったことは、ミニミニピザとやきそばの列がいっしょになってしまっまてまい回ピザの列はこちですと案内しなければいけませんでした。ミニミニピザには味が三つあるのですが、注文される時どの味にするかまい回言わないといけませんでした。メニューが見にくかったのがはんせいです。フードコートをやっていて楽しかったことはフードコートの人たちと仲良くなれて、うれしかったです。ミニミニピザを作っていてとてもおいしくやけたので作るのも楽しかったし上手にやけてうれしかったです。

【小学校4年生 Hさん】

楽しかったんですけど、働く人が多いし、午後たくさんお客さんがきて、楽しさよりもいそがしさが、勝ちました。けど、今年もキッズタウンが無事できてよかったです。また来年もやるとしたらきょだいメイロのところを水ぞくかんにするのはどうでしょうか？

【小学校5年生 Nさん】



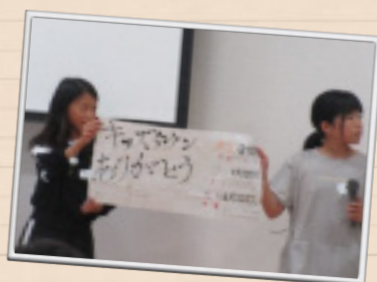
今年私は2回目の実行委員でした。去年、私は、実行委員長でも企画委員でもなかったのですが、今年は副実行委員長に選ばれました。初めて副実行委員長になれて、とてもうれしかったのですが、少しとまどいました。でも実行委員長達は去年も当選していて、次になにをする、こうした方がよい。などを知っていて、教えてくれました。それがとてもうれしかったです☆

私は2年連続フードコートたんとうでした。でも今年は去年よりルールがきびしくなっていて、作れるものが、かぎられてしまいました。それでも、みんなで考えて、おいしいものを作ることができました。今年も完売してうれしかったし、去年よりも人気だったのうれしかったです。

前日じゅんびでも「巨大迷路」が完成するかどうかかわからなかった時もみんなで力を合わせて完成できました。本番でも、みんなで助けあって最高のまちにすることができたのでとてもうれしかった

ん。来年、実行委員長けいけん者がいません。それでも、みんなで力を合わせてキッズタウンを未来へつなげたいです。

【小学校5年生 Kさん】



今年、私は念願の巨大メイロ担当になりました。今年は去年より複雑な構造にしました。なので、当日までにかべを組み立てが間に合うかかなりあぶなかったけど、ダンボールを2つ合わせて上だけをガムテープでとめるというかんたんにつくれるかべを発明したおかげでいっしょに作業スピードが上がりました。そのおかげでかべの組み立てがなんとか間にあいました。かべ作りに協力してくれた大人、中学生、また他のブースの実行委員にも感謝しています。当日もみんなが巨大メイロに入って、楽しそうにしてゴールしているのを見て、とてもうれしかったです。また、私の心に残ったのは、副実行委員長をやったことです。企画委員がしかいなどをやってくれるのでみんなで集まるときはあまり大変ではなかったけど、夏休みの準備期間は自分たちでやらなきゃいけなかったのが大変でした。こどものまち実行委員は3年生~6年生まで4年やりました。4年間とても楽しかったです。来年からは中学生実行委員

こどものまちに協力したいと思っています。

【小学校6年生 Mさん】



ぼくは、今回実行委員長を務めました。ぼくは、小学3年生の時から実行委員長になることが夢でした。小学5年生の時に副実行委員長を経験し、来年こそは、実行委員長になろうと、強く思いました。そして実行委員長になることができました。今年のコンセプトに向かって実行委員と大人実行委員の方々、公津の杜コミュニティセンターの職員の方と協力し実現することができました。特に大変だったことは、ハローワークのじゅうたい対策です。お客さんを待たせることなく札をわたせるように色々と考えましたが、札の数が足りずじゅうたいしてしまいました。なので来年は中学実行委員としてまた考えたいです。次に特にうれしかったことは、無事こどものまちを成功できたことです。最初は成功できるか不安でしたが成功できてとてもうれしかったです。

【小学校6年生 Hさん】

わたしは、子どもの町じっこういいんをはじめてやりました。さいしょはできるか心配でしたがやさしい先生や友だちがいてくれたので行くのが楽しみになりました。わたしが書いたポスターを市長がえらんでくれてうれしかったです。わたしはキッズタウンのカフェをたんとうすることになってじゅんびも、とても楽しくできました。

キッズタウン当日、さいしょのお客さんが来た時ちゃんとできるかふあんでしたが時間がたつにつれてなれてきて、え顔でスムーズにはこぶことができました!!と中で大人数の人たちが来て、オーダーの紙が10まいくらいたまっていたら、友だちが「あわてずあせらずゆっくりやろう。」と言ってくれたのでおちついてジュースを作ることができました。さいごのお客さんにジュースなどわたした時はほっとしました。たいへんだったけど楽しい夏休みの思い出になりました。

【小学校3年生 Cさん】

成田市こどものまちキッズタウンNARITAを今年も開催できたのは、我々子供実行委員そして大人実行委員やボランティアのみなさんのサポートのおかげです。さまざまなテナントがどうすればよりよい町になるのか、どうしたらお客さんに楽しんでもらえるか、などを考えて開催できました。

私は巨大迷路を担当しました。なぜ巨大迷路をやりたかったかというと初めてこどものまちに来た時にとてもとても楽しかったからです。巨大迷路は忙しくて休むヒマもなかったですが、なによりお客さんに楽しんでもらえることが一番です。来年も巨大迷路をやりたいです。

【小学校5年生 Kさん】



